

2015年
クイーン倶楽部だより 7月号
第149号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp



酒 米
山田錦

酒づくりは米づくり

今年目標は“品質向上!”
圃場巡回と講習会を開催

6月18日、山田錦の圃場巡回と講習会を行いました。
圃場巡回は、長岡市と見附市の3カ所の田んぼを巡回。田植えから1ヶ月ほど経過した苗はしっかりと根付いていましたが、水管理の徹底など、細かい指導が入りました。

講習会では、淡路先生からの総評があり、酒蔵が求める品質の良い“硬質米”を育てるには、葉色や根量を増やすなど、具体的な話もあり、生産者の今後の指針になりました。

また、(株)東芝、(株)サタケをお招きし、お米への異品種混入を確認するためのDNA検査器の説明もいただきました。

午後からは、山田錦の等級検査を行う6団体14名の農産物検査員が集まり、鑑定の均一化を図るため、サンプルを確認する“目合わせ会”を行いました。

山田錦の作付は今年で2年目、新潟のプロ農家の技量が試されます！



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクトラ “N”の 私にも一言言わせて

その3

※ドクトラ…英語で博士の意味

過剰な福祉は憲法違反だ！

憲法25条に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」があります。国の義務は最低限度で十分と明記してあります。最低限度とは「死なない程度の生活」と私は解釈しています。これ以上では国家財政は破綻するという先見の明で規定したのでしよう。

私は「死なない程度」とは、一人暮らしで月十万円と考えています。標準的な生活をするには当然不足ですので稼ぐしかありません。そこで行政は、「これでは足りませんので、職場斡旋いたしましよつ」と生活保護申請の横がハローワークが、親切な役所といえます。

現実の世界は生活保護をもらつと税金、年金、医療費、水道代、都バス・地下鉄など免除攻めです。月十数万の生活保護費は丸々手取りです。年収三百万円の社員が全部払っていたらとてもこの額には達しません。標準以上の生活の保障をしていることになりませう。仕事すると罰金制度になっていますから、発見されないように隠れバイトするしかありません。

どうしてこういうおかしい世界になったかといえば、まず政治の貧困が挙げられます。国会議員が何もしないどころか、ばらまきに手を貸してきたわけです。議員には手をつけると福祉切捨て論者といわれ、票が逃げてしまつという固定概念があるので、ばらまきという自己利益を図ってきたためです。

次に行政の複雑化があります。誰がいくら福祉手当をもらっているのかの不明さがあります。生活保護、母子・障害者福祉など重複もありますので、福祉給付の一本化、福祉個人番号化は必須です。

国家予算の半分を国債で賄っているのが異常なことに気付かず、リップサービス者に一票を投じてきた既存の投票者より、純粋な18歳からの新投票者に新しい風を期待しましょう。